

<その他、取組に特徴のある事例>

○女性の参加による地域コミュニティの推進

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>なよろし</small> 名寄市 <small>ふうれんちいき</small> 風連地域			
協定面積 744.9ha	田 (96.8%)	畑 (1.0%)	草地 (2.2%)	採草放牧地
	うるち米、もち米	小麦、アスパラ等	牧草	
交付金額 6,319万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	集落の管理体制に対する経費		4%
		農業生産活動等に対する経費		25%
		農業生産活動等の体制整備に対する経費		21%
協定参加者	農業者 405人、農業生産法人 1法人、非農業者 77人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

2. 取組に至る経緯

当集落は、人口の減少や少子高齢化の影響等により、地域コミュニティ機能の低下が懸念されたことから、平成12年度より中山間地域等直接支払制度を活用し、地域に残る文化や知恵を、世代を越えて伝承する活動に取り組んでいる。

3. 取組の内容

コミュニティ活動奨励事業として、地域コミュニティの育成を目的に、環境美化活動・文化活動・異世代交流活動等を実施しており、農業者のほか、女性・青年・子供・高齢者等が積極的に事業に参加している。

中でも地域の集落会館の清掃や草刈り等の活動には、女性が積極的に参加しており、周辺環境の美化活動に通じた地域コミュニティの維持・推進が図られている。

また、地域の小中学校が行う農業体験事業において、集落の農業者や女性が作業指導を行うなど、農業の担い手育成および農業が有する多面的機能への理解を広める活動を行っている。



【地域の集落会館清掃活動】



【農業体験における作業指導】

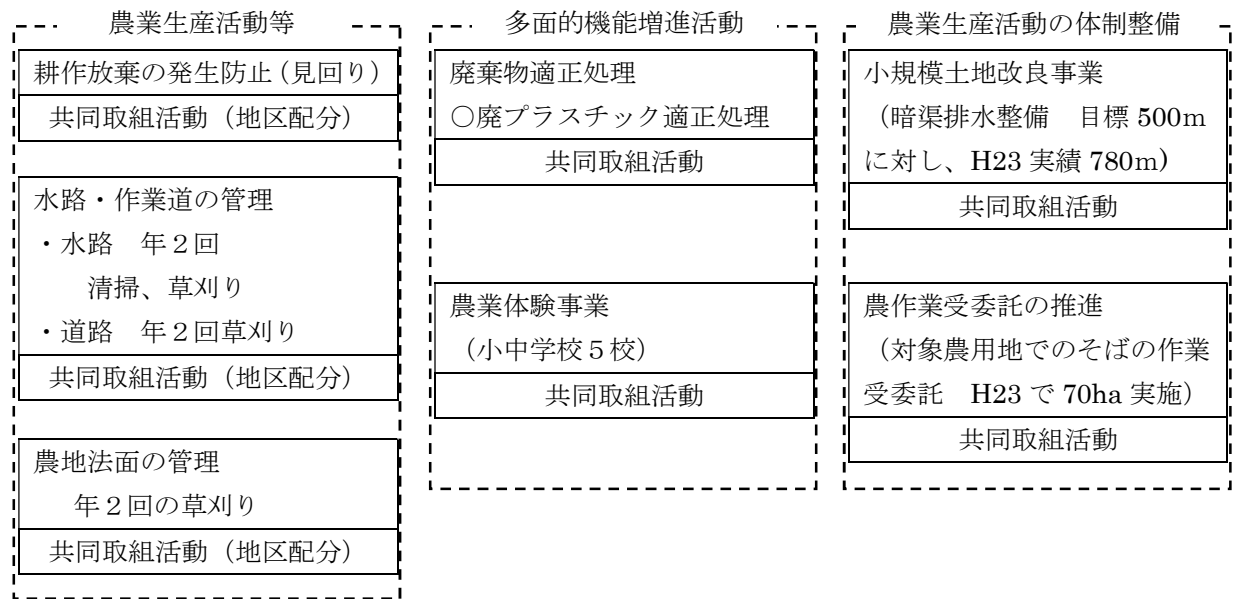
【集落の将来像】

- 高付加価値型農業 安心・安全な農産物の生産
- 担い手の育成・確保 農業研修等を開催し、担い手の育成・確保を図る。
- 多面的機能増進活動 農業体験学習の実施、地域コミュニティ活動の推進



【将来像を実現するための活動目標】

- 地域コミュニティ活動の推進（目標 地区集落において地域コミュニティ活動を推奨）
- 農業生産活動の体制整備（目標 対象地における暗渠排水整備 500m）
- 環境保全型農業の推進（農業用廃プラスチックの適正処理）
- 多面的機能の増進に向けた農業体験事業の推進（小中学校における農業体験の実施）



集落外との連携

- 隣接する名寄集落と連携し、2集落が資金を出し合って農産物販売促進等をテーマとした研修に対し助成を行っている。この助成は、農業者が二つの集落を越えて参加する場合にも対応するため、連携して事業を実施している。

4. 今後の課題等

コミュニティ活動や農業体験を継続することで地域の特色を生かすとともに、担い手育成と農業が有する多面的機能に対する理解を深め、地域コミュニティの持続的発展が図れるよう、今後も内容を工夫した取り組みが必要である。

【第2期対策の主な成果】

- 有害鳥獣防止対策事業（電牧柵の設置による鹿食害の防止）
 のべ取り組み件数 151件 のべ設置延長 168km
- 耕作放棄の発生防止（暗渠排水整備による生産性の向上）
 のべ取り組み件数 36件 のべ施工延長 37km